

= Match Report =

第72回宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技

準決勝

2026年6月7日(日)

13:15 kick off 会場(キューアンドエースタジアムみやぎ)

東北生文大 高校

vs

東北学院 高校

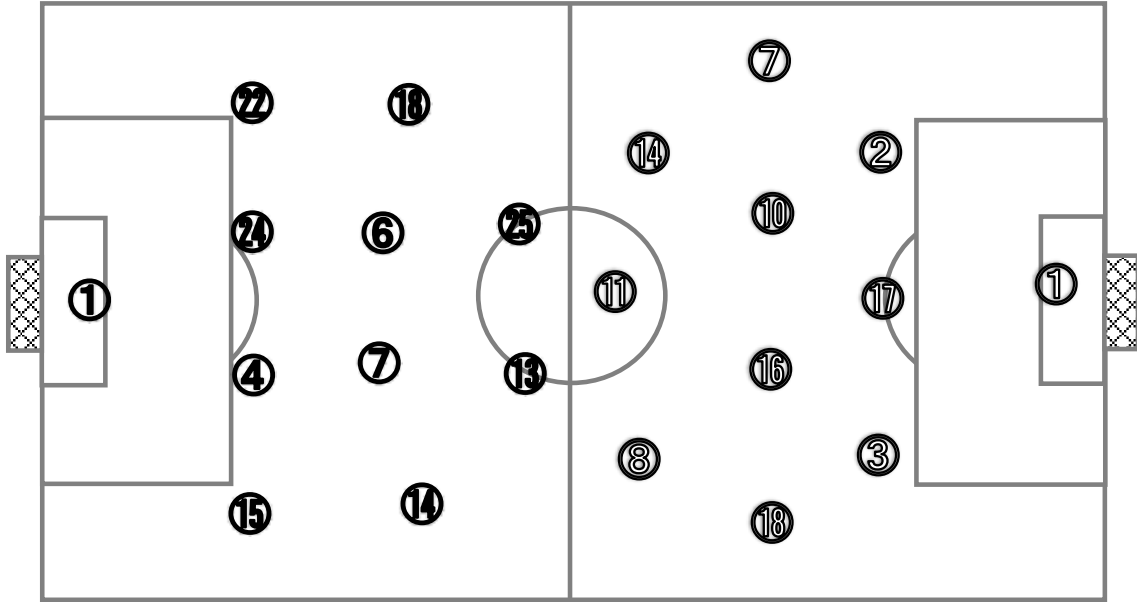
0

0 - 0
0 - 1
-
-
PK

1

基本システム 1 - 4 - 4 - 2

基本システム 1 - 3 - 4 - 3



【Match Report】

決勝進出を目指し東北生文大と東北学院が対戦する注目の一戦となった。アクシデントにより試合開始時間が15分遅れるスタートとなった試合は、立ち上がり生文大が勢いよく前線にボールを送り⑥菅原がシュートを放つなどしたが、徐々に試合は拮抗した展開となった。東北学院は生文大の攻撃時の可変システムにうまく対応して守備時に541とし背後のスペースを消しながら縦に入ってくるボールに対して対人でうまく対応してチャンスを作らせない。徐々に東北学院の前線⑭常盤や⑧平野にボールが入るシーンが出てきたが、攻撃はフィニッシュまでなかなか行けない展開となった。20分をすぎると東北学院が右サイドから立て続けにチャンスを作るが得点はできず。前半終了間際には生文大もセットプレーからフィニッシュまでつなげるが得点はできず。両者力強い対人と集中力でチャンスの少ないながら激しいバトルのある前半となった。後半開始5分に生文大は⑬越河のシュートがクロスバーに当たるこの日一番のチャンスも決められず。流れは前半同様変わらず、中盤での一進一退の攻防が続き、互いにチャンスに近づくも決めきれない展開が続いた。互いに高いテンションと攻守の攻防により徐々に消耗し、引き分けのまま延長戦にもつれ込むかと思われたが、終了間際に東北学院右サイドからのクロスに対して生文大がファウルし、PK。このPKを東北学院キャプテン⑩氏が冷静に決め、決勝点。東北学院が白熱した戦いを制し、決勝戦に進出を決めた。

記載責任者 所属(仙台大附属明成高校) 氏名(坂田 和也)